

④6鳥取看護大・鳥取短期大地域活動サークル(倉吉市)

地域貢献と実践的な学びを目的に、鳥取看護大・鳥取短期大の学生が2024年に設立。「子どもから高齢者まで、地域の人々と交流しよう!」をスローガンに、スポーツイベント「くら×スポ」を企画し、地域住民の健康増進や交流の場づくりに取り組んでいる。地域を元気にする県民の優れた地域づくり活動を表彰する「令和7年度鳥取県ミラ・クル・とっとり運動・SDGs活動表彰」の学生部門(大学生の部)で優秀賞を受賞した。



地域みんなの健康づくり後押し



鳥取看護大・鳥取短期大の学生でつくる「地域活動サークル」のメンバー

県発祥のスポーツや子ども向けのゲームブースなど、幅広い世代が楽しめる催しを用意しており、1歳から参加できる。本年度から希望者を対象に、年齢に応じた体力測定や運動器の衰え具合を測る「ロコモ度」測定を開始。健康運動指導士や栄養士によるカウンセリングも行う。

受付時の血圧測定など健康チェックは看護大生が実施。短大フードデザイン専攻の学生が災害時を想定して考案したメニューの炊き出しもあり、日頃の学びを実践する場となっている。鳥取中央育英高(北栄町)スポーツ探究類型の生徒もスタッフとして参加し、地元高校との連携を深める。

リピーターが多く、参加者数は順調に増加。初年度は年3回だった開催も昨年度は9回、本年度は12回と年々規模を拡大している。現在、約100人が所属。副サークル長の南城莉市さん(20)＝鳥取短大専攻科フードデザイン専攻1年＝は「参加者の笑顔がどんどん増えている実感がある。より多くの方に来てもらい、楽しく健康になれるイベントとして発展させていきたい」と意気込んだ。